

平成 31 年度
救助工作車Ⅱ型 仕様書
(南消防署)

横須賀市消防局

第1 総 則

この仕様書は、横須賀市（以下「本市」という。）が購入し、南消防署に配置する救助工作車Ⅱ型（以下「本車両」という。）について必要な事項を定める。なお、疑義が生じた場合は本市と協議をし、十分熟知のうえ契約するものとする。また、契約後に生じた疑義は、すべて本市の解釈に従うものとする。

第2 規 格

- 1 本車両は、本仕様書に定めるところによるほか、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号）、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準及びその他関係法令の規格に適合し、かつ緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 2 使用する材料は全て新規製品、日本工業規格及び国の補助対象規格（「国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額（平成16年3月30日総務省告示第281号）」並びに「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号）」）等に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。
- 3 本車両は、製造工場については、品質管理システム（ISO 認証取得）を構築していること。

第3 契約・仕様打合せ

受注者は、契約締結後1か月以内に仕様内容等について本市と打合せを行い、打合せ終了後1週間以内にその打合せ内容の確認書を提出すること。

第4 提出書類

- 1 受注者は契約後、5日以内に次に掲げる書類を本市へ提出すること。
 - (1) 契約内訳書
 - (2) 製作工程（予定）表
- 2 受注者は上記確認書の提出後、2か月以内に次に掲げる承認図書を提出し、承認を得てから製作に着手すること。なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本（A4版ファイル、目次・インデックス付）	1部
電子媒体（1つの電子媒体に記録）	1部

- (1) 製作工程表
- (2) 承認図
 - ア ギ装外観図（前、後、両側面及び平面図）
アプローチアングル、デパーチャーアングル記載
 - イ 車体骨組図
 - ウ シヤシ組立図
 - エ シヤシ諸元明細書
 - オ キャブ内架装図
 - カ 動力伝達装置関係図
 - キ 電気系統図及び配線図
 - ク ウインチ装置図
 - ケ クレーン装置図
 - コ 油圧発生装置図
 - サ 発電装置及び伸縮照明装置図
 - シ 積載資機材の配置図
 - ス 特殊装備部分の電気配線図
- (3) 消費電力一覧表
- (4) その他本市が必要と認めたもの

3 受注者は、納入検査日の3日前までに次に掲げる完成図書を作成し、本市へ提出すること。
 なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本（A4版ファイル、目次・インデックス付）	2部
電子媒体（1つの電子媒体に記録）	1部

- (1) 本車両仕様書
- (2) 外観5面カラー写真
- (3) 完成図
- (4) シヤシ、エンジンの点検書
- (5) 改造概要等説明書
- (6) 各種車輛検査項目証明書（検査時画像を添付すること）
 - ア 車輛重量実測証明書
 - イ 完成車転覆角度実測証明書
- (7) 車検証の写し
- (8) リサイクル券の写し
- (9) 車庫証明の写し
- (10) 自動車損害賠償責任保険証明書の写し
- (11) 排出ガス・燃費基準等ステッカーの写し（認定車に限る）
- (12) 自動車台帳（本市が指定する様式）

- (13) 取扱説明書等
 - ア 車両取扱説明書（製本のみ）
 - イ 特殊装置の取扱い説明書
 - ウ パーツリスト
- (14) 車両及び積載資機材の保証書等
- (15) シャンカタログ
- (16) その他本市が指示するもの

第5 検査、受領及び保証等

1 検査申請

中間及び納入検査の申請は、検査日の2週間前までに検査日及び検査場所を明記した書面で本市に申請すること。

2 中間検査

ぎ装途中に実施するものとし、検査時期については別途指示する。

3 納入検査

本市検査員および受注者が立会いのうえ実施する。

4 受領

納入検査の実施後、本市が合格と認めた場合に受領するものとする。

5 保証

保証期間は、納入後1年以上とし保証書を提出すること。また、設計・製作・塗装・材質・部品等の不良により起因する不具合の発生は、保証期間後であっても受注者において無償により是正修復すること。なお、特許その他利権上問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

6 技術指導

受注者は、本市が別に指示するとおり、本車両及びぎ装装備品の取扱いについて、技術指導（3日間の予定）を行うこと。

第6 納入

1 納入場所

横須賀市消防総合訓練センター

2 納入期限

令和2年2月13日（木）

第7 登録手続き等

車両の新規登録及び廃車登録に関する一切の経費については受注者が負担する。ただし、本車両にかかる自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料、自動車リサイクル法にかかわる経費は本市が負担するため、別途請求すること。

第8 引取り・解体処分

受注者は下記のとおり、車両及び別表に記載する車両取付け品等と同等のものを引取り・解体処分すること。

1 解体処分方法

(1) 車両関係

- ア 緊急自動車として再利用、再登録できない状態にすること。
- イ 全ての赤色警光灯類（サイレンアンプ付）を取外し、再利用ができない状態にすること。
- ウ 記入文字の全てを完全に消すこと（色付スプレー等で塗装処理は不可）。
- エ その他本市が指示する必要事項。
- オ 上記アからエまでの作業実施後、4面カラー写真及び神奈川運輸支局長が発行する解体が行われたことの証明書（登録事項等証明書等）を提出すること。

(2) 装備品関係

- ア 転売及び再利用ができないよう、適正に処分すること。
- イ その他本市が指示する必要事項。

2 引渡し予定車両

引渡し予定車両の概要は下記のとおりとし、車検証の写しが必要な場合は、担当者まで連絡すること。なお、他車両の状況等により引渡し予定車両が変更になる場合は、速やかに受注者へ通知する。

- | | |
|------------|----------------------|
| (1) 車体の形状 | 救助工作車 |
| (2) 車名 | いすゞ |
| (3) 型式 | P B-F S S 35 G 3 J 改 |
| (4) 初年度登録 | 平成17年3月 |
| (5) 車検有効期間 | 平成33年3月28日 |
| (6) 車両重量 | 10,940 kg |
| (7) 車両総重量 | 11,270 kg |
| (8) 定員 | 6人 |

第9 車 両

本市が購入する本車両の主要諸元は、次のとおりとする。

1 購入台数

1 台

2 車両タイプ

キャブオーバーダブルキャブ（ハイルーフ）型 5.5 トン級増トン低床消防専用シャシ

3 エンジン

最高出力及び検定出力 162kW（220PS）以上（最新排ガス規制に対応したもの）

4 駆動方式

四輪駆動

5 変速装置

オートマチック方式

6 動力伝達装置

フルパワーPTO、トランスミッションPTO 付き

7 その他の機能

（1）制御装置

ABS 付

（2）ヘッドランプ

ディスチャージヘッドランプ若しくはLED

（3）オルタネーター

24V-90A 以上

（4）タイヤ

納車時、マッド&スノータイヤを装着すること

8 使用燃料

軽油

9 定 員

6名

10 車両寸法

（1）全 長

7,900mm 以内

（2）全 高

3,400mm 以内

（3）ホイールベース

3,700mm 以上

- 11 最大積載量
3t 以上
- 12 装 備 品
別表 1 のとおり
- 13 ぎ装、取付け品及び取付装置
別表 2 のとおり
- 14 消防救急デジタル無線機及び車両運用端末装置 (AVM 装置)
別表 3 のとおり
- 15 積載品及び救助用資機材
別表 4～7 のとおり

第 10 車両の構造

- 1 本車両は常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
- 2 本車両は堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、強度を損なうことなく軽量化を図ると共に、使用取扱い上の安全性、操作性及び点検・修理の維持管理を十分考慮したものとすること。
- 3 本車両は防錆、防水及び防塩性を十分考慮した施工とすること。
- 4 車両は、ウインチ装置、発電照明装置、油圧発生装置、最後部にクレーン装置を装備し、ボデー扉はアルミ製シャッターで、内部に各種資機材の収納装置を設けること。また、総体的な重量軽減を図り、車体重量、左右前後のバランス、転倒角度を十分考慮して製作すること。

第 11 キャブぎ装及び架装

- 1 外 観
 - (1) 上 部
 - ア ハイルーフは赤色警光灯一体型の電子サイレン用スピーカーを取付けること。
 - イ キャブ上部にはアルミ縞板張り落としこみルーフデッキを設け、そのデッキには強度のあるフックを 6～8 個設けること。なお、ルーフデッキとフック部分の耐荷重表示をすること。

ウ ルーフデッキに、足元を有効に照らす LED 式の作業灯を設けること。数量、スイッチ等の詳細は別途協議する。なお、取付ける電装品は、強固に取付けると共に防水処置を施し 配線は屋根裏からセンターピラーを通し屋根上に配管用パイプを設けること。

エ ルーフデッキ上に対空表示をすること。なお、表示文字は別途指示する。

オ ルーフデッキ側面の左右 2 箇所（計 4 か所）に無線・AVM アンテナ用の台座を設けること。

カ キャブ上部の背面に無線、AVM に必要なアンテナ入線孔を必要数設けること。なお、詳細は別途指示する。

(2) 前 面

ア モーターサイレンをフロントバンパー付近に取付け、スイッチは 10 連スイッチ及び運転席付近の計 2 箇所に設けること。

イ 車両前部の左右に赤色点滅灯を保護枠付で取付けること。

ウ フロントバンパー前部にバウシャックル（許容荷重 3 トン以上）を 2 箇所設けること。

エ フロントグリル内に作業灯を 2 個埋め込みで取付けること。なお、スイッチは運転席付近または、コンソールボックスに取付けること。詳細は別途協議する。

オ フロントグリル中央部に消防章を強固に取付けること。

カ フロントガラス上部に左右対称で黒色の手摺りを取付けること。

(3) 側 面

ア ハイルーフ左右側面に埋め込み式の隊名標識灯（以下「標識灯」とする。）を設けること。なお、標識灯は車両のスモールランプと連動させ、点灯・消灯させること。

イ 手摺り兼用の旗立てパイプ（内径 25mm）を助手席側 C ピラーに取付け、旗竿をネジで固定できる構造とし、ネジには落下防止チェーンを取付けること。

ウ 前後席の両側において、昇降に必要な箇所にステンレス製メッキの手摺りを設けること。

エ 各ドアのフェンダー部及び踏込部にアルミ保護板を貼ること。

オ キャブ内への昇降ステップは側面がアルミ縞板張りとし、踏み込み部はグレーチングにより設け、滑り止めテープを貼りつけること。

カ 後部座席への左右昇降ステップ部に、必要に応じて資機材収納庫を設けること。

キ 助手席で後方確認できるよう確認ミラーを標準装備サイドミラーとは別に設けること。

ク 後部座席から後方確認できるミラーをステンレス製メッキの手すりに設けること。なお、取り外しできる構造とすること。詳細は別途指示する。

ケ 各ドア内側側面に黄色等の反射テープを貼付すること。

(4) その他

ア エンジン点検用の LED 照明灯を設けること。なお、当該照明灯は個別の専用スイッチとし、キャブチルト操作部付近に設置すること。

イ その他本市が指示する必要事項。

2 内 装

(1) 前席付近

- ア ルームミラー型車載用全周囲確認装置を取付けること。
- イ ドライブレコーダーを取付けること。
- ウ オーバーヘッド助手席側に電子サイレンアンプ（音声合成機能及び専用マイク付）を取付けること。なお、10 連スイッチと連動するように施工すること。
 - (ア) 音声合成機能付き（方向指示器と連動）で警鐘の擬似音を発することが可能であること。
 - (イ) 専用マイクには抜け止め防止措置を施すこと。取付位置等は別途協議とする。
 - (ウ) フレキシブルマイクロホンを追加設置し運転手が使用できる位置に設置すること。
- エ エンジンアワーメーターを取付けること。なお、取付位置は別途協議する。
- オ スモールランプ等に連動することなく、ON/OFF スwitchのみで解除できる後退警報器（ブザー音）を取付け、運転席付近にスイッチを設けること。
- カ 前席天井部に携帯拡声器 2 個を吊り下げ方式で取付けること。詳細にあつては別途指示する。
- キ バッテリーメインスイッチ（シャシ純正）を設け、ぎ装関係の電源も切れる構造とすること。設置位置については別途協議する。
- ク 運転手が使用可能な位置にモーターサイレンスイッチ（10 連スイッチとは別）を設けること。（第 11-1-(2)アと関連）
- ケ 上記項目について、シャシとの構造により施工できない場合は別途協議とする。

(2) 前席中央部

- 前席の中央席を取外し、重量物に耐えうる強固なコンソールボックスを設けること。
- 当該箇所に付帯する資機材は以下のとおりとする。なお、状況等により変更になる場合は、別途協議とする。
- ア 車載無線機
- イ 無線受話器
- ウ 車両運用端末装置（AVM 装置、液晶ディスプレイ等の重量は約 5 kg）
- エ 電装用スイッチ
 - (ア) オイルパンヒーター切り替えスイッチ
 - (イ) エンジン回転自動制御装置メインスイッチ
 - (ウ) フロントグリル作業灯スイッチ（※第 11-1-(2)エと関連）
 - (エ) その他必要なスイッチ
- オ 未収納警告灯
 - 未収納警告灯にあつては下記のとおりとし、各警告灯が表示された状態でサイドブレーキを解除すると、警告音等で安全を確保できる構造とすること。なお、未収納警告灯をバックモニターで表示する場合も同様とする。
 - (ア) シャッター格納庫開閉警告灯
 - (イ) 三連梯子未収納警告
 - (ウ) 照明未収納警告

- (エ) クレーン未収納警告
- (オ) アウトリガー未収納警告
- (カ) ウインチ未収納警告
- (キ) 展開式ステップ未収納警告
- (ク) その他必要な未収納警告

カ 10 連スイッチ（誤操作防止保護枠付き）

- (ア) 渋滞通過
- (イ) 交差点通過
- (ウ) 出場予告
- (エ) 赤色点滅灯 OFF
- (オ) 周囲灯・計器灯
- (カ) モーターサイレン
- (キ) ボックス灯
- (ク) 別途指示とする
- (ケ) 火災出場
- (コ) 救助出場

キ 電子サイレンアンプ（※オーバーヘッド設置時は削除）

(3) 後席付近

- ア 後部座席前方にステンレス製の手摺り棒を設け、滑り止めを施した S 字フックを 5 個以上指定する位置に設けること。また、パンチングメタル板を使用して仕切りを設けること。
- イ 後部座席前方に、地図（A3 サイズ）等を入れる箱を鉄製で取付けること。サイズについては別途協議とする。
- ウ 電子サイレンアンプで使用するマイクを、後部座席の乗降車及び走行時において支障のない位置に増設すること。なお、マイクには抜け止め防止措置を施すこと。
- エ 室内高は後部座席部分で 1800mm を確保すること。
- オ 金具及びベルト等を使用して誘導灯 2 本を取付けること。取付位置及び構造については別途協議とする。

(4) 座席等

- ア 座席は前部 2 席、後部 4 席の 6 名定員（全席シートベルト付）とすること。
- イ 座席は難燃材を使用し、防汚シートカバーを取付けること。なお、詳細は別途指示する。
- ウ 助手席は呼吸器埋め込みシートとし、空気呼吸器 1 基を固定できる構造とすること。また、背もたれ背面には後部座席から使用できる取り外し可能な鉄製の折り畳み式ホワイトボード及びペン立てを設置すること。大きさ等の詳細は別途指示する。
- エ 後部窓ガラスが付帯する側面を積載庫側に延長し、呼吸器収納スペースを確保すると共に後部席の居住空間を拡げること。
- オ 後部座席後方に空気呼吸器取付装置一体型のクイックホルダー 4 基を装着すること。
- カ 助手席及び後部座席後側の空気呼吸器取付装置付近に帽子掛けを取付けること。なお、本数等は別途協議とする。

キ 後部座席の座面は2分割・跳ね上げシートとし、背もたれは高さ調節が可能な構造とすること。なお、座面・背もたれは長時間の乗車時も考慮した構造とすること。

ク 後部座席のシート下部には、可能な限り大きな収納ボックスを設けること。

(5) 収納等

ア 前席と後席の間に吊り戸棚式の強固な金属製の収納庫を可能な限り大きく設けること(間口 20 cm以上)。なお、底部及び側面はパンチング加工とし、小型の専用 S 字フックを5個以上取付け、落下防止用の立上げを施し、ゴムネット及びゴムネット掛け用のパイプを取付けること。

吊り戸棚床裏面にはティッシュボックス(マグネットタイプ)を取付けられること。また、落下防止措置として、位置変更が容易にできるマジックテープ等で固定できるようにすること。

イ 後席上部後方に吊り戸棚式の強固な収納庫を可能な限り大きく設けること。なお、底部はパンチング加工及び落下防止用の立上げを施し、ゴムネット及びゴムネット掛け用パイプを取付けること。

ウ キャブ内において乗降及び走行時に支障のない位置にネット状の網棚及び物かけ用パイプを設置すること。大きさ、位置、数については別途協議とする。

(6) 車内照明

ア 運転席、助手席及び後席の天井に埋め込み式 LED 照明(純正品とは別)を設けること。なお、照明のスイッチは、本体付近に設置しスイッチは切り替え式(ON/OFF)とする。

イ 後部座席においては、隊員が立って作業をする際に足元を照射できるよう LED 照明を設けること。なお、電源スイッチは天井後席の LED 照明用スイッチとは別に設けること。詳細にあつては別途指示とする。

ウ 助手席上部及び後部席左右上部に LED フレキシブルマップランプを取付けること。

エ 各ドアに LED フットランプを取付けること。

(7) その他

ア キャブ内の床面は可能な限りアルミ縞板張りとし、消防活動後や潜水活動後の乗車における水汚損防止の措置を講じること。なお、水抜き穴を適所に配置すること。

イ 天井部の内張りは、電装品及び各配線の点検が容易に行える構造であること。

ウ その他本市が指示する必要事項。

第 12 車両積載庫のぎ装及び架装

1 外 観

(1) 上 部

- ア 積載庫上面にチタン製三連梯子及びチタン製かぎ付梯子を積載し、積み降ろしは地上から容易に操作ができるダンパー式昇降装置を設け、ロック装置をダブルロックにすること。また、塩害による防錆加工を十分に施すこと。なお、はしごの固定方法等は別途協議とする。
- イ 積載庫上面に、脱着式のアルミ縞板製収納ボックスを設けること。また、クレーン吊り下げ用の強固なフックを4箇所設け、収納ボックスは水密構造とすること。なお、ボックス内はゴム等の緩衝材を施し、仕切り板を用意すること。位置等の詳細は別途協議とする。
- ウ アルミ縞板製収納ボックス上に対空表示をすること。表示文字は別途指示する。
- エ 必要に応じ、積載庫上面の中心部（クレーン下部）に薄型縞板製ボックスまたは、掘り込み収納を設けること。
- オ 積載庫上面及び各ステップはアルミ縞板製とし、車外に設ける手摺、保護枠等はステンレス製にすること。
- カ 積載庫上面にフックを設けること。なお、数量、設置位置については別途協議とする。
- キ 積載庫上面には足元を有効に照らす LED 式の作業灯を設けること。詳細は別途協議する。

(2) 側 面

- ア 車体両側面の嵩上げ部に、埋め込み式の隊名標識灯（表示名称別途指示）を設けること。なお、標識灯は車両のスモールランプと連動させ、点灯・消灯させること。
- イ 車体両側面の嵩上げ部に、車体周囲を有効に照射できる LED 作業灯を、各2箇所設けること。なお、スイッチの位置は別途協議とする。
- ウ 車体両側面の嵩上げ部に、LED 赤色点滅灯を、各2箇所設けること。なお、スイッチの位置は別途協議とする。
- エ 車体両側面の嵩上げ部（外側）に D 環フックを設けること。許容荷重も表示すること。個数等の詳細にあつては別途協議とする。
- オ 車体側面後部側にバスケット担架、バックボード及びレスキューフレームが立てて収納できる積載庫を設けること。詳細にあつては別途協議とする。
- カ 積載庫左側前部に積載庫上部への昇降用はしごを設けること。なお、車体側板を延長し、キャブ後部を覆い隠すように取付け、キャブチルトを考慮した構造とすること。
- キ 昇降用はしごの横さん間隔は 300mm 程度で設け、滑り止めを施すこと。さらに、はしごの奥には可能な限り大きな扉付の収納を設けること。
- ク 積載庫右側前部とキャブの間に収納庫を設けること。詳細は別途協議とする。
- ケ 車体両側面に設ける積載庫の開閉方法は、手動式のアルミ製シャッターとし、開扉状態を確認できるリミットスイッチを設け、キャブ内に取付けた表示灯に結線すること。
- コ 車体両側下部は複数の展開式のステップ兼用扉とし、可能な限り積載スペースを確保すること。なお、各扉を展開した状態は、高さが同じとなるフラット方式とし、ステップ間の移動が容易にできる構造とすること。
- サ 展開式のステップ兼用扉は、張り出しを極力抑えた狭隘道路対策を施すこと。

シ 全ての展開式ステップの内側は、アルミ縞板張りとするほか、角には丸みを施し、塗装剥がれを防止するステンレス製のエッジカバーを張り付けること。また、展開時側面の必要箇所には反射テープを貼付すること。

ス 展開式のステップ兼用扉に設けるロック装置は、ダブルロックとし側板から突出しないよう扉内臓の埋め込み式にすること。

セ 車両両側のリアフェンダー内に、360度回転する環フック（許容荷重 300 kg）を各 2 箇所取付けること。

ソ 後輪の前部に路肩灯(LED)を設けること。なお、点灯・消灯は車両のスマールランプと連動させること。

(3) 後面

ア 車体後部壁面上部左右 2 箇所に、収納枠を設け長物資機材の積載庫を設けること。必要に応じてパンチングカバー貼りとし各種資機材の固定、収納、レイアウトが容易に変更できる構造とすること。詳細は別途協議する。

イ 車体後部壁面上部の左右に LED 赤色点滅灯、LED 作業灯をそれぞれ保護枠付きで設けること。なお、スイッチは容易に操作可能な位置とし、左右に各 1 個設けること。

ウ 車体後部から積載庫上面への昇降用ステップは、クレーン保護パネルと後部壁面間の左右に設け、滑り止めを施すこと。また周囲には LED 照明により安全性を高めること。手摺り及びスイッチは別途協議とする。

エ 車体後部壁面の取出しやすい位置に、固定バンド付の架台を設け 20 型 ABC 消火器を取付けること。設置位置は別途協議とする。

オ 後方から後部バンパー上面へ容易に昇降できるように、可能な限り大型の蹴込みを設けること。(LED 照明付き)

カ リヤコンビンションランプ及びバックランプの周囲に化粧板を取付けること。

キ 車体後部バンパーに強度のあるバウシヤクルを設けること。詳細にあつては別途協議する。

ク 車体後部バンパー中央に収納庫を設けること。大きさ等は別途指示とする。

ケ 積載庫とクレーン装置の間に左右貫通している収納庫を設けること。また、可能な場合は収納庫周辺の必要な箇所に、360度回転する環フック（許容荷重 300 kg 程度）を設けること。詳細は別途協議する。

(4) その他

ア 安全走行を図るため、可能な限りアプローチアングル・デパーチャーアングル（図面に記載）を確保すること。詳細は別途協議する。

イ 車体に設けるステップ、ブラケット、タラップ及び手摺り等には、十分な補強を施すこと。なお、取付け数、位置は別途協議とすること。

ウ 必要に応じてボンディングアースを施工すること。詳細は別途協議する。

エ 車輪止め（2 個以上）収納枠を設けること。詳細にあつては別途協議する。

オ その他本市が指示する必要事項。

2 積載庫内

資機材に応じて扉付収納庫または、アルミ縞板製収納ボックス（以下、「アルミボックス」という。）を選択し、収納配置、棚の仕切り等は本市と充分協議すること。また、重量バランス・収納効率・軽量化対策等を考慮し製作にあたること。

(1) 構造等

- ア 積載庫内は中央で左右に分割し、両側面を5～6区画とする。この区画は収納する資機材の現物に合わせ、さらに2～4段の棚に細分し、必要に応じ仕切り板を設けること。また、積載品の状況により積載庫を展開式とすること。詳細は別途協議する。
- イ 積載庫の両側面に取付けるシャッター周囲は、シャッター用リミットスイッチ等の付帯物が損傷しないように緩衝防止のステンレスの保護板を設けること。
- ウ 積載庫内のシャッターは、巻取り部にシャッター損傷防止策を講じること。
- エ 積載庫内を有効に照射できるLED庫内灯を必要数設け、そのスイッチはシャッター及びボックス扉の開閉に連動していること。
- オ 積載庫内は、資機材に変更（更新等）が生じた場合でも容易に改造ができること。
- カ 積載庫内の棚は上下の高さ調節が可能な構造とすること。なお、必要に応じ固定用バンドの金具についても同様に上下の調整が可能とすること。
- キ 資機材の固定は、現物に見合った固定装置を取付け、ラッシングベルト等を使用するなど、ワンタッチで容易に脱着できる構造とすること。
- ク 積載庫内の骨組みや板材の切断端末には、危害防止の面取りを施し、積載庫内に使用するネジ等は、ヘッドが突出しない施工とすること。
- ケ 資機材は、ボックス・ローラー・移動ローラー・引き出しレール等を用いて、容易に車外へ引き出せる構造とする。また、高所の資機材は必要に応じ斜め引き出し式を設けること。
- コ アルミボックスは、搬送を容易にするためグリップホール（ゴムカバー付）を設けるほか、取手紐を備えること。
- サ アルミボックスの収納をスムーズにするため床面に樹脂製の台座を設けること。また、引き出す際に段差が生じない構造とすること。
- シ アルミボックスの積み下ろしの際に周囲の塗装を保護するため、ステンレス製の折材カバーを設けること。
- ス アルミボックスには資機材銘板を設け、収納位置をわかり易くするための番号を表示し、収納位置に近接する骨組みにも同番号を表示すること。（マグネットタイプ）
- セ 扉付収納庫に設ける扉は、アルマイト加工を施した化粧パネルを取付けること。
- ソ 各種収納庫等には、必要に応じてクッションゴム等を敷き資機材の保護を図ること。
- タ 各種収納庫等には、必要に応じて防水パッキン・水抜き穴等の処置を講ずること。

(2) 資機材収納関係

- ア 資機材は可能な限り同一用途にまとめること。
- イ 重量物は可能な限り下部位置となるよう収納すること。
- ウ 資機材の形状等により必要な場合は、前側シャッター内両側に上下貫通式の大型展開棚を設けること。展開棚より奥側にも積載庫を設け、ボデー中央のデッドスペースを有効に使用できること。
- エ 大型油圧救助器具一式は、助手席側の前側収納個内の大型展開棚に収納すること。詳細は別途協議とする。
- オ 空気呼吸器用予備ボンベはキャブ内及び本市が指定した場所に積載し、ワンタッチで脱着が容易な構造とすること。
- カ ロープ、カラビナ及び救助用縛帯等の収納は、助手席側後部の収納庫内で上下貫通型の展開式とし、片側側面はパンチングカバー張りとする。なお、専用のフックを6～8個設けること。
- キ 携帯救助器具（ストライカー、掛矢、ツルハシ、バール、金テコ、斧、鉋、鋸等）は走行時に支障がないよう固定できる措置をとること。詳細は別途協議する。
- ク 潜水関係資機材の収納庫は専用の区画を設け、海水等による被害（錆び・水損）防止措置を十分に施すこと。また、他の資機材収納へ被害が及ばない構造とすること。
- ケ 潜水用空気ボンベにBCを装着し、起立した状態で4本分収納すること。その他の積載方法は別途協議する。

(3) その他

- ア 車体の重要な点検箇所に関して、工具を使用するためのスペースを確保すると共に、必要な箇所には点検口または、点検扉を設けること。
- イ その他本市が指示する必要事項。

第13 主要装置

1 ウインチ装置

- (1) ウインチ装置の動力は車両のPTOで高圧ポンプを駆動させ、最大直引き能力5トン級の前引き油圧ウインチ装置を架装すること。なお、車体振動、ねじれ等に十分耐える強度を有すること。
- (2) ウインチのロープガイドまでフロントバンパーを張り出し、バンパー上部にステップ兼用のアルミ縞板を取付けること。
- (3) ウインチ用のアルミ縞板カバーをフロントバンパー部に設けること。なお、キャブ上昇時に支障のない構造とすること。詳細は別途協議する。
- (4) 必要な場合、フロントバンパーの扉付きの収納スペースを設けること。詳細は別途協議する。
- (5) ウインチ（車両）とワイヤーロープの牽引角度は、15度以上まで対応可能とし、乱巻き、キンク等の発生を防止する構造であること。

- (6) ワイヤロープの巻き込み用にトランペットカップ型、若しくはローラー型のロープガイドを取付けること。
- (7) 安全装置として、過負荷防止装置及び逆転防止装置を取付けること。
- (8) ワイヤロープの先端には、シャックルを介して5トン用アイフック（安全チャック付）を取付けられる構造とする。
- (9) ウインチドラムのクラッチを断の状態では、ワイヤロープが手動で容易に引き出せること。
- (10) 引張り速度は発電照明装置併用時も5m/分以上を確保し、速度を無段階にスピードコントロールができる操作部を設けること。
- (11) ワイヤロープの巻取り・送出しは2～3ミリでの微操作が可能であり、かつ、ワイヤロープの戻り等が生じない構造とすること。
- (12) ワイヤを無負荷で収納する際に、ウインチドラム内の乱巻きを防止するロープブレーキ装置を設けること。
- (13) クラッチの断接ほか、全ての操作はリモコンでも行えるものとし、緊急時等は手動用レバーによる手動操作ができること。
- (14) リモコン装置に張力負荷を表示する油圧表示計又はデジタル表示計を設けること。
- (15) リモコンの取出しは、車両の前部に1箇所設けること。詳細は別途協議とする。
- (16) ウインチ装置

主要諸元は次のとおりとし、ウインチ装置のメーカー等については落札業者と別途協議にて決定とする。なお、納入時は決定したメーカーの最新式を採用し必要な装備品及び付属品を設けること。

ア メーカー	ロツツラー社若しくはわ大橋機産(株)
イ 型式	前引き（納入時最新式）
ウ 能力	最大直引能力 5トン以上
エ ワイヤ外径	13mm 以上
オ ワイヤ長さ	有効 30m以上
カ 巻取速度	1～5 m/分以上を確保（発電照明装置併用時も同様）
キ 操作方法	手動、無線、有線

- (17) ウインチ装置付属品の仕様は次のとおりとする。

ア ワイヤロープ	12mm×5m・10mm×5m	各2本
イ シャックル	5トン	2個
ウ リモコン装置	10m延長コード付	1個

2 クレーン装置

- (1) クレーン装置の動力は車両のPTOで高圧ポンプを駆動させ、シャシ後部に最大吊上げ能力2.9トン級クレーン装置を架装しシャシフレームを必要に応じ補強すること。
- (2) 後部には操作レバーのロッドを覆い隠す手摺付の保護パネルを設け、ナンバープレートを取付けること。
- (3) 必要に応じパワーセービングバルブ（流量調整弁）を設けること。

- (4) クレーン操作部左右の見易い位置に、水準器を設けること。
- (5) クレーン操作部の見易い位置に、荷重計を設けること。
- (6) クレーンのブーム先端に、照明灯を1個取付けること。
- (7) クレーン及びアウトリガーの未格納警報装置を設けること。
- (8) アウトリガー両側面に保護カバーを設けること。
- (9) アウトリガー上部に、黄色灯（保護枠付）を設けること。
- (10) アウトリガーに、黄色反射テープを張り付けること。
- (11) アウトリガージャッキ用敷板（樹脂製）を左右に各1枚クレーン装置付近に取付けること。
- (12) ウインチ・クレーンの切り替え弁を設けること。
- (13) クレーン装置

主要諸元は次のとおりとし、クレーン装置のメーカー等については落札業者と別途協議にて決定とする。なお、納入時は決定したメーカーの最新式を採用し必要な装備品及び付属品を設けること。

ア メーカー	古川ユニック(株)若しくは(株)タダノ		
イ 型式	納入時最新式		
ウ 最大クレーン容量	2.93 トン以上		
エ 最大ブーム長	7.5m以上		
オ 最大揚梯最大地上揚程	約 9.2m以上		
カ 最大作業半径	7.5m以上、アウトリガ張出幅を3段階で使用できること		
キ 駆動方式	PTO 油圧式		
ク 連動ラジコン	納入時最新式		
ケ クレーン装置付属品			
(ア) 繊維スリング	3 トン	3 m・5 m	各 2 本
(イ) シャックル	3 トン		2 個
(ウ) 滑車	3 トン		1 個

3 屋上上昇式発電照明装置

発電照明装置は、発電機及び制御操作盤により構成し、PTO で駆動させる照明装置であること。なお、照明作業や電源供給作業等は長年の使用に十分耐えられるものであること。

(1) 発電照明装置等

主要諸元は次のとおりとし、発電装置のメーカー等については落札業者と別途協議にて決定とする。なお、納入時は決定したメーカーの最新式を採用し必要な装備品及び付属品を設けること。

ア メーカー	(株)湘南工作所若しくは(株)多摩川精機
イ 型式等	納入時最新式

(2) 配電操作盤

ア 配電操作盤は、制御盤及び配電盤より構成し、発電機と照明装置への電源供給操作を一体型にしたもので、扉は防滴構造にすること。

イ 操作盤の材料は絶縁性、耐圧性及び強度に優れたものを使用すること。

ウ 操作盤は、資機材の収納を妨げない最小限の物とし、各計器、スイッチ類は合理的に配列されていること。

エ 操作盤に自動エンジン回転制御装置用のロック式スイッチを設けること。

オ 車体コンセントは、車体の左右及び後部に設けること。

カ 車両走行エンジンの回転調整装置（非常用）を操作盤に設けること。

キ 各スイッチには、同容量のノンヒューズブレーカーを設けること。

(3) 投光器

ア 投光器は、車体屋根上面に折りたたみ状態で収納できるものとし、振動に十分耐えられるよう取付けること。

イ 投光器収納時は、クレーン上面より突出しない構造で取付けること。

ウ 投光器は、伸縮、旋回及び上向き・下向きができる構造で、有線リモコン及び無線リモコン操作により遠隔操作ができること。

エ 投光器の諸元等は次のとおりとする。

(ア) 灯 体 LED1600W 以上×2灯

(イ) 周 囲 灯 LED×2灯

(ウ) 旋 回 角 360 度

(エ) ふ 仰 角 180 度以上

(4) 伸縮装置

伸縮装置は地上高6m以上とし、積載ボックス前側の上部とする。可能な限り中央に取付け、積載ボックスの収納スペースを妨げない構造とすること。

ア 伸 縮 高 地上高6m以上

イ 旋 回 角 360 度

ウ ふ 仰 角 180 度以上

4 自動エンジン回転制御装置

工作車に装備される上記主要装置を使用する際に、最適なエンジン回転数を自動的に選択する装置を設けること。また、誤動作による各装置の破損を防ぐため、上記主要装置の各装置を併用する時には、優先される装置の最適エンジン回転数を自動的に選択・維持し、装置の運用効率を高めること。

第14 電装関係

1 キャブ内

- (1) バッテリー容量は 24V-100AH 以上とし、走行用及び特殊装備品の使用に対し、十分な容量を確保すること。
- (2) バッテリー積載部は引出し式とし、ロックはワンタッチの解除方式とすること。
- (3) 車内の乗降等に支障のない位置にバッテリー管理器を取付け、充電器用の外部入力（AC100V コンセントはオイルパンヒーター用コンセントと共用とすること。詳細は別途指示する。
- (4) 車室内に AC100V 用コンセント（2 個口・アース付）を設置すること。なお、電源入力は外部入力用コンセントと同一とすること。詳細は別途指示する。
- (5) 赤色警光灯の電源関係は、キーON 以上で通電すること。
- (6) 赤色警光灯及び赤色点滅灯スイッチは電子サイレンアンプに組み込むこと。
- (7) ドライブレコーダーの電源は ACC 以上で通電すること。
- (8) モーターサイレンスイッチを運転席付近及び集中操作スイッチに組み込むこと。
- (9) ヒューズボックスをキャブ内に設け、各電装品ごとに名称、アンペアを記入すること。
- (10) 前席中央のセンターコンソールボックス内に各スイッチ類を設けること。なお、スイッチは 10 連スイッチボックス等を用い自動変色型押しボタンとする。また、スイッチ本体に名称を表示すること。

2 無線機

横須賀市葉山町消防指令センターの通信可能エリアにおいて、消防指令センターと無線交信が成立するよう 260MHz 帯消防救急デジタル無線機等の取付けを次のとおり行うこと。

(1) 車 外

ア 消防救急デジタル無線用アンテナについて

- (ア) 消防救急デジタル無線用アンテナ及び貫通型アンテナ取付金具を受注者で新たに用意し取付け無線機本体と接続すること。なお、貫通部から雨露の侵入がないようにすること。
- (イ) アンテナ取付位置は、ルーフ上部の送受信に支障のない位置（消防救急デジタル無線用アンテナ 2 本を 1.2m 以上離して設置、アンテナエレメントと同じ高さの金属類から 30cm 以上離して設置）に設けること。なお、この離隔距離が確保できない場合は、本市と協議し、アンテナ取付位置について本市の承諾を得ること。

イ 車外無線通話装置について

無線送受話機と送受話機用ハンガーを取付け無線機と接続すること。取付位置は別途協議とする。

ウ 車外無線機用スピーカーについて

- (ア) 車外無線機用スピーカーを 1 台取付けること。なお、車外無線機用スピーカーは本市が支給する。支給するスピーカーは、UNI-PEX社製CA-150ST Fとする。
- (イ) 支給するスピーカー（CA-150ST F）の取付けができない場合は、定格入力5W以上、定格インピーダンス8Ω以上のスピーカーを受注者で新たに用意すること。

(2) 車 内

ア 無線機について

前席中央部コンソールボックス（以下、「コンソールボックス」という。）内に無線機用ブラケット（富士通ゼネラル マウントシャーシCM-2010MTR）を介して無線機本体を取付けること。必要なコンソールボックス開口部寸法は、別途指示する。コンソールボックスに無線機本体が取付けできない場合は、との取付位置は別途協議とする。

イ 車内送受信機について

無線送受信器及び無線送受信機用ハンガーをコンソールボックス上及び後部座席付近の乗降及び走行時において支障のない位置に取付けること。取付位置等は別途協議とする。

ウ アンテナケーブルについて

(ア) 無線用アンテナケーブルを「各アンテナ取付金具から無線機取付位置」まで1本ずつ配線し無線機と接続すること。

(イ) アンテナケーブルは室内に露出しないよう内張り配線とすること。なお、内張り内でケーブルのばたつき音が生じる恐れがある場合は、フレキシブルチューブ配管などで必要な処理をすること。

エ 無線機用電源について

キースイッチの操作により、無線機本体の電源がON・OFFできるように以下の通り施工すること。

(ア) デジタル無線機への電源供給は端子台を介すること。

端子台へは以下①から③の電源を供給すること。

① バッテリー（+）電源（バッテリー直接供給）

② バッテリー（-）電源（アース）

③ メインスイッチに連動する（+）電源

※端子台への供給電圧は24Vとなるように接続すること。

(イ) (ア) の①の供給電源については、バッテリーからの専用配線とし、ヒューズ（10A）を介して供給すること。

(ウ) 無線機専用の電源ケーブルを受注者で用意すること。

(エ) 組端子台と電源線双方に、線種を明記すること。

(オ) (ア) の③の供給電源は、キースイッチ介して無線機電源へ接続すること。電線は、VCTF 3C×0.75sqを使用すること。キースイッチは無線機取付位置の近くへ固定し、「無線機電源」の表示をすること。

オ 無線用スピーカーについて

(ア) 無線用スピーカー（定格入力5W以上、定格インピーダンス8Ω）を受注者で用意し、車内1箇所に埋め込み式で設置すること。音声用ケーブルをデジタル無線機本体へ取付けること。

(イ) 車内埋め込みスピーカーと車外無線機用スピーカーは、コンソールボックス上のトグルスイッチの操作により、どちらか一方から無線音声が出力されるように施工すること。このトグルスイッチには、「スピーカー切替」の表示をすること。

カ 各配線の端末は、線種を明記すること。

キ 本市が支給する物品を宅配便等で受注者へ送付する場合、その運賃は受注者が負担すること。

3 車両運用端末装置 (AVM 装置)

車両運用端末装置の配線等については、納車後に本市所有のAVM装置の取付工事を本市が実施するため、受注者がアンテナ等を新たに用意し、次のとおり施工すること。なお、詳細は別途指示する。

- (1) 指定する GPS アンテナを、極力ルーフ上の車両進行方向に近い位置に取付け、GPS アンテナの設置部周辺及び配線接続部分に耐熱防水（車両外装用シリコン・シーラント）処理を実施し、車両インターフェースユニットの取付位置まで、車両の伝送系ノイズの影響を極力受けないルートを考慮して最短距離で配線すること。ルーフ上への取付けを最優先とするが、困難な場合のみ本市と協議の上、ダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、極力水平の位置で金属製 GPS アンテナ用アースプレートを貼付した上に取付け、車両インターフェースユニットの取付位置まで、車両の伝送系ノイズの影響を極力受けないルートを考慮して最短距離で配線すること。GPS アンテナ末端の専用コネクタ側に全ての余長をまとめること。
- (2) 指定する FOMA アンテナをダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、FOMA アンテナを完全に立てることが可能な位置に取付け、FOMA アンテナ末端の専用コネクタ側を、モニタユニット設置位置付近まで最短距離で配線し、全ての余長をまとめること。
- (3) GPS アンテナの取付位置は、無線用アンテナから概ね 50cm 以上離すこと。また、運転の安全を妨げるものがない、かつ金属突起部等から極力離れた位置に設置すること。
- (4) GPS アンテナをルーフ上に取り付ける場合、ルーフ上の車外配線は、GPS アンテナから車両進行方向と逆側に配線し、車内の配線については、無線用同軸ケーブルと同じ経路で通線しないこと。配線は最短距離で行ない、配線を保護する方法と外部から浸水しない処置をすること。
- (5) 液晶ディスプレイの取付架台を運転に支障がなく、かつ助手席からの操作が容易な位置に設けること。取付架台は可能な限り液晶ディスプレイの設置位置を前後に変更できるよう幅を設けるようにすること。固定方法と位置については別途協議する。液晶ディスプレイ等重量は約 5 kg であり、取付架台の強度を十分確保するため、鉄板強度を高めた構造とし、ボルト及びダブルナット固定とすること。
- (6) 運転席の座席後部に AVM 装置関連機器（車両インターフェースユニット、メンテナンスユニット（カバー含む）、モニタユニット、ネジ式ターミナル端子）の設置場所を確保し、車両インターフェースユニットの設置位置には、車両インターフェースユニット及びネジ式ターミナル端子台を余裕で収納できる大型の金属加工のカバーを設置すること。確保カバー形状と設置位置については別途協議する。車両内に配線経路のみを通すことのできる隔離した収納場所を設けている場合、本市と協議の上で、この金属加工カバーの設置をしないことができる。
- (7) ネジ式ターミナル端子台には、上から順番にバッテリーからダイレクト配線の+端子、アクセサリ (ACC)、イグニッション (IGN)、SPEED 信号 (車速信号)、BACK 信号、アース (ボデー)、バッ

テリーからダイレクト配線の一端子で配線すること。各配線及び端子台には、線種が分かるようタグを取付けること。ネジ式ターミナル端子台及び金属加工の小型カバーは、納車時に完全固定しないこと。

- (8) バッテリーの電源配線については、バッテリー付近にブレードヒューズ BOX と 10A のブレードヒューズを取付け、ネジ式ターミナル端子台まで直接配線し、他と配線を共用しないこと。ブレードヒューズ BOX には、タグを貼付すること。車両バッテリー交換時に、この配線が車両内で干渉しないよう考慮して配線すること。
- (9) AVM 装置関連機器の設置位置に、資器材等を積載する恐れのある構造の場合は、関連機器を保護するための措置をすること。
- (10) 配線端末側には線種を明記したタグを取り付けること。

第 15 塗装及び記入文字

1 本車両の塗装

塗装色については、本市が別に提示する色見本もしくは、次の塗装色を基準にすること。

- (1) 本車両の外観塗装全般（ホイール部分を除く）は、マンセル値 7.5R4/14 の近似値または、同等色とし、彩度は 14 以上ならば可とする。
- (2) 本車両のシャシは、フロントグリル及び消防章の台座を上記の色で塗装すること。

2 本車両の記入文字

- (1) 横書きの文字は、左から右への表記とする。
- (2) 指定する文字は、白色の丸ゴシック体とすること。なお、詳細は別途指示とする。
- (3) 表記している文字は、位置・大きさを考慮し、バランスよく表示すること。なお、車両の形状等に応じて協議の上、調整を可能とする。詳細は別途指示とする。
- (4) シャッター等のデザインについては、別途協議とする。
- (5) 表記文字等は次のとおりとし、変更となった場合は速やかに受注者へ通知する。

記入文字等	記入位置	色別	1文字の大きさ 縦 (mm) × 横 (mm)
横須賀市消防局	①	白	別途指示
特別救助隊	②		
南	③		
RESCUE	④		
車両番号 (536)	⑤		
神奈川県	⑥	(標識灯)	
神奈川 横須賀	⑦	黒	別途指示
南	⑧	黒	別途指示
横須賀市 ワッペン	⑨	別途指示	
横須賀消防 イラスト	別途指示		
補助金等充当元 (別途指示)	別途指示		

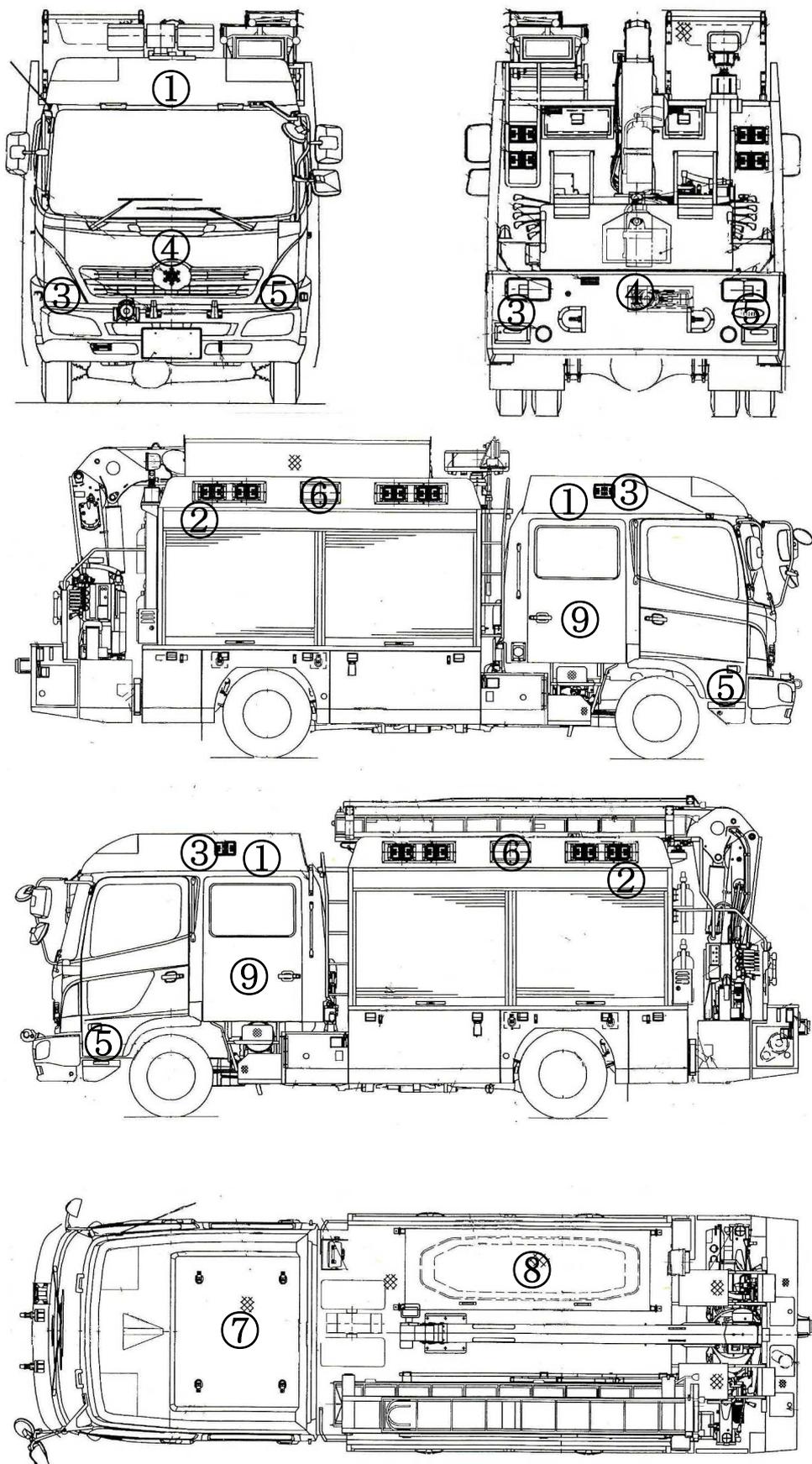
※ 別添の文字記入位置イメージは、記入位置を参考にするものであり、車両及び資機材等を限定するものではない。

第16 補 則

- 1 当該車両の主要装置、取付け品等において同等以上の操作性と安全性を有するものを備える場合は、本市と協議をし承認を得ること。
- 2 車両の資機材は最新の物とし、変更がある場合は本市担当者へ連絡すること。当市が指定する資機材には専用の収納ケースを設けること。
- 3 別表1から別表7までの資機材には、「横須賀市消防局」「南R 536」と明記すること。また、各収納ケースには、資機材名称及び「横須賀消防」と明記すること。その他、詳細は別途協議とする。
- 4 車両登録番号については「536」とすること。

別添

【文字記入位置イメージ図】



別表 1

装備品

番号	品名	適用	数量
1	エンジン回転計	純正品	1 式
2	エンジン油温計	純正品	1 式
3	アワーメーター	適応品	1 式
4	エアコン	純正品	1 式
5	パワーステアリング	純正品	1 式
6	パワーウィンドウ	純正品	1 式
7	エアバック	適応品	1 式
8	集中ドアロック	純正品	1 式
9	ヘッドランプ	ディスチャージ若しくわ LED	1 式
10	フォグラмп	純正品	1 式
11	電動格納ミラー	純正品	1 式
12	電動キャブチルト	適応品	1 式
13	ラジオ	AM・FM	1 式
14	サンバイザー	運転席・助手席	1 式
15	サイドバイザー	適応品	1 式
16	フロアマット	適応品	1 式
17	フロントメッキグリル	適応品	1 式
18	フロントスポイラー	適応品	1 式
19	泥除け	適応品	1 式
20	停止表示板	適応品	1 式
21	車輪止め	ゴム製 (黄色)	4 個
22	スペアタイヤ	マッド&スノータイヤ (ホイール付、塗装なし)	1 本
23	タイヤチェーン	適応品	1 式
24	ブースターケーブル	適応品	1 式
25	本車両用鍵	標準装備分含め 3 本	1 式

別表 2

ぎ装、取付け品及び取付装置

番号	品名	適用	数量
1	ウインチ装置	ロツラー社若しくわ大橋機産製前引き（納入時最新式）	1 式
2	クレーン装置	ユニック若しくわタダノ製（納入時最新式）	1 式
3	照明装置	【発電装置】 株湘南工作所若しくわ株多摩川精機 （納入時最新式）	1 式
		【配電操作盤】 株湘南工作所若しくわ株多摩川精機 （納入時最新式）	1 式
		【投光器】 株湘南工作所若しくわ株多摩川精機 （納入時最新式）	1 式
		【伸縮装置】 株湘南工作所若しくわ株多摩川精機 （納入時最新式）	1 式
4	エンジン回転制御装置		1 式
5	電子サイレンアンプ	TSK-D152（通信機能・専用マイク付）	1 式
6	電子サイレンアンプ用マイク	後部座席用増設	1 式
7	ワイヤレスマイクシステム	ユニペックス製 （ワイヤレスマイクロホン、ワイヤレスアンテナ、システムケース）	1 式
8	フレキシブルマイクロホン	運転席に増設	1 式
9	取付金具		1 式
10	はしご昇降装置	手動	1 式
11	空気呼吸器ホルダー	後部座席及び助手席	5 基
12	助手席	呼吸器埋め込みシート	1 式
13	後部座席	2分割、跳ね上げ、背もたれ高さ調整、下部収納	1 式
14	モーターサイレン	本体・キャブ前側、運転席付近及び集中操作スイッチ組込み	1 式
15	集中操作スイッチ	SBW-100（保護枠付き）	1 式

16	エンジンワーマーター	適応品	1 式
17	警告灯	未収納警告灯	1 式
18	ルームミラー型車載用 後方確認装置		1 式
19	マップランプ (LED タイプ)	助手席及び後部座席 (左右)、照射角度調整・ ON/OFF スイッチ付	1 式
20	室内灯 (LED タイプ・ ON/OFF スイッチ付き)	キャブ内天井 (前後席各 1)	1 式
		後部座席 (足元)	1 式
21	後退警報器 (ブザー音)	解除スイッチ付き	1 式
22	地図入れボックス	詳細は別途指示	1 式
23	網棚	ネット状	1 式
24	帽子掛け		1 式
25	コンソール	キャブ内 (必要箇所・詳細別途指示)	1 式
26	消防章	車両前部中央 (台座赤) 180 mm	1 式
27	補助ミラー	助手席側の車外	1 式
28	旗立てパイプ (手摺り兼 用)	口径約 25 mm	1 式
29	スピーカー	電子サイレンアンプ用ハイルーフ内蔵	1 式
30	赤色警光灯	LED 警光灯ハイルーフ内蔵	1 式
31	標識灯	ルーフ左右側面「南」	1 式
		車体両側面嵩上げ部分「神奈川県」	1 式
32	赤色点滅灯 (LED タイプ)	車両前部	1 式
		車両側面嵩上げ部	1 式
		車体後部	1 式
33	路肩灯	LED 式	1 式
34	作業灯	ルーフデッキ部	1 式
		積載庫上部	1 式
		フロントグリル内	1 式
		車体両側面嵩上げ部	1 式
		車体後部	1 式
		リアバンパー	1 式

35	エンジン室内灯	LED 式	1 式
36	フットランプ (LED タイプ)	各ドア	1 式
37	車両側面収納庫	シャッター式	1 式
38	パンチングパネル		1 式
39	収納ボックス	後部座席下	1 式
		着脱可能式 (車体上部)	1 式
		各資機材用	1 式
40	昇降用ステップ		1 式
41	フック	ルーフデッキ部分	1 式
		車体両側面嵩上げ部 (外側)	1 式
		左右リアフェンダー内等別途指示する	1 式
42	シャックル	バウシャックル (車両前後部)	1 式
43	庫内灯	LED タイプ	1 式
44	オイルパンヒーター	コンセントマグネット式、コード 10m 付 (外部入力電源共用)	1 式
45	バッテリー管理器	ズボラ充電器 24V	1 式
46	車体損傷防止装置	必要箇所	1 式
47	バッテリー引き出し式	ワンタッチロック	1 式
48	AC100V コンセント	キャブ内 (2 個口アース付)	1 式
		車体部分 (左右各 1、後部 2)	1 式
49	塗装・記入文字		1 式
50	ルーフデッキ	キャブ上部	1 式
51	手摺り	フロントガラス上部、キャブ内外	1 式
52	車輪止め収納枠	詳細別途協議	1 式
53	アルミ保護板	本市指定	1 式
54	ボンディングアース	詳細別途協議	1 式
55	ドライブレコーダー	(株)ニッパテック製 BU-DRHD431 (納車時最新式) SD16G	1 式
56	座席シート加工	防汚シート	1 式
57	後部フロア防水対策		1 式
58	ホワイトボード		1 式

別表3の1

消防救急デジタル無線機（納車時最新式、同等品可）

番号	項目	品名	適用	数量
1	消防救急 デジタル 無線機	単信式消防救急 デジタル無線機	富士通ゼネラル製CM-2011S分離 制御ケーブル増設タイプ	1 式
2		無線用アンテナ	260MHz 帯消防救急デジタル無線用受信アン テナ1/4波長または1/2波長（フレキシブル）	2 本
3		アンテナ取付金具	アンテナに適合した取付金具	2 個
4		同軸ケーブル（コネクタ 付）	5D-FB	1 本
5		無線機送受話器	MC-157D（無線機から送受話器ま でのケーブルやジャンクションボックス を含む）	3 個
6		送受話機用ブラケット	CM-5538	3 個
7		無線用スピーカー（車内）	clarion CS-520A（車内） タキゲン S-〇〇-90-EF-1	2 個
8		キースイッチ	※〇〇は、鍵番号のため別途指示（ON、 OFF表示）	1 式
9		電装機器類	仕様書本文中に記載したケーブル・端子台・スッ チルレ等	1 式
10		無線局免許申請		1 式
携帯用デジタル無線機				
11	携帯用デジ タル無線機	富士通ゼネラル製 消防救急 デジタル無線	携帯型移動局無線装置 CP-2011P	1 式
12		防水スピーカーマイク	無線機本体に取付けできること	1 個
13		革ケース	無線機本体に取付けできること	1 個
14		肩掛けベルト	番号14革ケースへ取付けできること	1 個
15		ベルト装着マウントA型	無線機本体に取付けできること	1 個
16		バッテリーパック	無線機本体に取付けできること	3 個
17		免許申請		1 式

署活系無線機				
18	署活系無線機	パーテックスインターナショナル社製 消防用署活系無線機	無線機本体：VXD-450F（納車時最新式、同等品可）	6 台
19		連結型充電器	番号20の充電池を充電できること	1 式
20		充電池	2300mAh 以上	12 個
21		キャリングケース	無線機に充電池を取付けた状態でケースに入る	6 個
22		防水スピーカーマイク	無線機本体に取付けできること	6 個
23		クリックリリースブラケット	無線機本体に取付けできること	6 個
24		免許申請		6 式

別表3の2

車両運用端末装置（AVM装置）

1	GPSアンテナ	本市指定	1 本
2	FOMAアンテナ	本市指定	1 本
3	金属製GPSアンテナ用アースプレート (GPSアンテナをダッシュボード上に取り付ける場合に限る。)	本市指定	1 式
4	ネジ式ターミナル端子台	本市指定	1 式
5	大型の金属加工のカバー (隔離した収納場所を設けている場合を除く。)	本市指定	1 式
6	車両運用端末装置用電源ケーブル	本市指定	1 式
7	防水タイプの平型ヒューズホルダー (10Aのブレードヒューズ内蔵)	本市指定	1 式
8	タグ取付け	本市指定	1 式
9	AVM取付架台	指定品対応	1 式

別表 4

積載品及び救助用資機材（省令別表 1）

1-1 一般救助用器具

番号	品名	適用	数量
1	かぎ付はしご	KHFL-TOT31	1 基
2	三連梯子	KHA-87	1 基
		クレーン救出用具（関東梯子 TRC-02）	1 式
		横棧保護カバー（関東梯子 TRS-50L）	1 式
		搬送用キャスター（関東梯子 RFC-075）	1 式
		クロスバー（関東梯子 TRX-167）	1 式
3	金属製ワイヤーはしご	KHFL-Y-11	1 基
4	空気式救助マット	スーパーソフトランディング SSL	1 式
5	救命索発射銃	レスキューマックス #412	1 式
6	サバイバースリング	AC 010-070-00 Rev C	1 本
7	スリング（ANNEAU）	25mm×60	4 本
		25mm×80	4 本
		25mm×120	4 本
		25mm×150	4 本
8	マルチスリング	3 m	2 本
		5 m	2 本
9	チューブラーウェビング	3.6 イエロー	4 本
		4.5 ブルー	4 本
		6.0 オレンジ	4 本
10	救助用縛帯	エンジェルハーネス （AC-01-011-00）	1 個
		デラックスエバックハーネス （AC-01-012-00）	1 個
11	平担架	G-0119	1 基
12	担架	フルスケッド（付属品含む）	1 基
		ハーフスケッド	1 基
		バックボード（付属品含む）	1 式

13	ロープ	レンジャーロープ(12φ×200m) 東京製綱 (M打 黄1、S打 緑1)	2 巻
		CMC スタティック・ロペ・ネールユース オレンジ(12.5mm) 100m×2巻 ホワイト (12.5mm) 100m×1巻	3 巻
14	カラビナ	ステンレス 0型 還付	20 個
		スーパー12	10 個
15	滑車	TR 300	10 個

1-2 重量物排除用器具

番号	品名	適用	数量
1	油圧ジャッキ	ルカス ラムシリンダー R430 (ラムサポート LRS-T 付) 若しくはわウェバー RZT3-1310XL (ベースサポート、シルサポート付)	1 式
2	油圧スプレッダー	ルカス SC358E2 若しくはわ ウェバー RIT-TOOL E-FORCE2	1 式
3	可搬ウインチ	チルホル TU-16 (20mワイヤー、収納ケース付)	1 式
4	ワイヤーロープ	(両端圧縮止め) 12mm×6m 12mm×3m	各 2 本
5	マンホール救助器具	ロールグリス R350 90m仕様 (ロープウインチ・アルミケース付)	1 式
6	救助用簡易起重機	レスキュー・フレーム	1 式

1-3 切断用器具

番号	品名	適用	数量
1	油圧切断機	1-2 重量物排除用器具 2番と兼用	— —
2	エンジンカッター	ハスクバーナー K970 Rescue	1 式
		レジノイドブレード 金属用5枚・非金属用5枚	10 枚
		ダイヤモンドブレード FR-3	1 枚
3	ガス溶断機	現有資機材で対応	— —

4	チェーンソー	カッターエッジ CE2172RS 予備チェーン付	1 式
5	鉄線カッター	パワーカッターDPC-16 (手動式)	1 式
6	電動式レシプロソー	BOSCH GSA18V-LI	1 式
		バッテリー (スライド式 18V リチウムイオン 2.6Ah)	1 式
		替刃 (品番 S957CHM) 金属用 5本入り	1 式
		替刃 (品番 S1531L) 木材用 5本入り	1 式
7	ディスクグラインダー	BOSCH GWS18V-LI	1 式
		バッテリー (スライド式 18V リチウムイオン 2.6Ah)	1 式
		替刃 (品番 MCD10510P/10) 10枚入り	1 式
8	特殊カッター	ルカス S120 若しくはわウエーバー S50-14	1 式

1-4 破壊用器具

番号	品名	適用	数量
1	万能斧	アタックツール(ART-ATK30)若しくはわハリガソツール (8053529、8052700 付)	1 本
2	ハンマー	10 ポンド	1 本
3	携帯用コンクリート破壊器具	ハンディブレイカー (ビートル付)	1 式

1-5 検知・測定用器具

番号	品名	適用	数量
1	レーザー距離計	DISTO D3	1 個

1-6 呼吸保護用器具

番号	品名	適用	数量
1	空気呼吸器	AM30[横須賀モデル] (CS 面体、面体保護カバー、カバーガラス F2 取付け済み及び、吸気管アラミドカバー付、予備カバーガラス一式、空気呼吸器収納ケース)	5 式
2	空気呼吸器ボンベ	530CIII Z (F-265 刻印、ボンベ用保護上下カバー付)	15 本

1-7 隊員保護用器具

番号	品名	適用	数量
1	革手袋	ロープ降下用オーバーグローブ C531BK	5 双
2	安全帯	本市指定	18 本
3	防毒マスク (C用)	3 M 面体 : 6800DIN、 吸収缶 : FR-64、 フィルター 2 枚組 2091	5 個
4	防毒マスク (N用)	興研 面体 : 1521HG 吸収缶 : RDG - 2HP	5 個
5	携帯警報器	MSA モーションスカウト K-T-R	5 式
6	胴付長靴	シバタ工業株式会社 胴付水中長 安全強化タイプ	5 足

1-8 検索用器具

番号	品名	適用	数量
1	簡易画像探索機	プロカムII又はジストス	1 式

1-9 除染用器具

番号	品名	適用	数量
現有資機材で対応			

1-10 水難救助用器具

番号	品名	適用	数量
1	潜水器具一式	ウルトラネッスルウエットスーツ (SAR仕様) No. SR5100	8 着
		レジェンドLX シュープリームレギュレーターNo. 129680	8 本
		トラスト3 ゲージ (デプスゲージタイプ)	8 本
		BC ジャケット アクシオ (L3個、ML3個、M2個)	8 着
		マイスターフィン (オレンジ)	8 双
		マイスターマスク	8 個
		ゼファースノーケル BK/OG (スノーケルホルダー付)	8 本
		マリングローブ (M4個、L4個)	8 双
		アクアブーツ (26 cm 4足、27 cm 3足、28 cm 1足)	8 足
		アクアギアバック 黒	8 袋
		アクアラング潜水用ヘルメット	8 個
		ジュピター600 LED ライト	8 個
		ウエイトベルト (イエロー)	8 個
		ステンレスバックル	8 本
		ウエイト 2kg	8 個
		ウエイト 1kg	32 個
		オリジナルラッシュガード長袖 (M3着、L3着、XL2着)	8 着
潜水ボンベ 12L メタリンコタンク	8 本		
2	流水救助器具	救命胴衣 NT-BSR-905(名入れ)	8 着
3	救命ボート	アキレス FRB-365 (必要品含む)	1 式
		ボート補強 (ケブラー補強)	1 式
		エアーガン 300	1 式
		ファイバーライトクレードル 2	1 式
		ボート吊り下げ用 ベストスリング	2 本
4	船外機	ホンダ BF9.9	1 台
5	レスキューチューブ		1 個
6	水難用ロープ	トコライトロープ 16 B (6 mm)	1 巻
		フローティングロープ KX (12 mm)	1 巻

1-11 山岳救助用器具

番号	品名	適用	数量
1	バスケット担架	タイタンシリーズ Ti一体型	1 式
2	ハーネスボード	ペツル バケット S41Y 25L	2 個
		ペツル バケット S41Y 35L	3 個

1-12 その他の救助用器具

番号	品名	適用	数量
1	投光器一式	ヤマハ クロスバスターLED (30m専用ケーブル・三脚付)	1 式
		発電機 EU9i	1 基
		30mコードリール 防雨型 BF-301K	1 式
2	携帯投光器	ストリームライト サイバー IEC 099	2 基
		JWin LEDジェライト JLL-2100WP	1 基
3	携帯拡声器	TS - 533L (ウエストホルダー付 NZ-303B 付)	2 個
4	携帯無線機	無線機及びイヤホン等本市指定	5 式
5	車両安定キッド	ウェーバー スタブファストMK2ベーシック	1 式
6	その他の携帯救助工具	エアーバックセーフ若しくはエアバックプロテクション	1 式
		助手席用エアーバックセーフ2若しくはエアバックプロテクション助手席用	1 式
		グラスマネジメント若しくはグラスマネジメントセット (スマッシュ&シャープラップ含む)	1 式
		鎌・鋸・斧・掛矢・スコップ	1 式

別表 5

積載品及び救助用資機材（省令別表 2）

2-1 一般救助用器具

番号	品名	適用	数量
1	マット型空気ジャッキ	マイティバック SV-20 (10Mpa 対応) 若しくはレスキューエアバッグ W16-10 (10Mpa 対応)	2 式
		マイティバック SV-35 (10Mpa 対応) 若しくはレスキューエアバッグ W16-10 (10Mpa 対応)	1 式
		マイティバック SV-40 (10Mpa 対応) 若しくはレスキューエアバッグ W30-10 (10Mpa 対応)	1 式
		ストップバルブ若しくはワシットオフバルブ	1 式
		SACU 調整器 (オプションライト付) 若しくはワハンド型ダブルコントローラー	1 式
		減圧器 30MP a (A 型ホース 2m 付) 若しくはワリデュサー 30MP a (接続ホース 2m 付)	1 式
		SBV ホース (10m) 若しくはワインフレーションホース (10m)	1 式
		スーパーミニマティウルトラフラット A セット若しくはワレスキューエアバック A セット	1 式
		保護用ゴムマット	1 式
		オートクリブ IT AC-17	1 式
スタブパックセット (オプション・収納箱付)	1 式		
2	大型油圧スプレッダー	ルカス SP777 若しくはワウェバー SP53BS	1 式
		ルカスチェンセット若しくはワウェバー・スプレッダー用チェーン	1 式
		プロテクションカバーセット若しくはワプロテクティブハット	1 式

2-2 切断用器具

番号	品名	適用	数量
1	空気鋸	タイガーエアーソー 調整器付	1 式
2	大型油圧切断機	ルカス S788若しくはわウェバー RSU210PLUS	1 式
3	空気切断機	アジャックス M-811 調整器付	1 式

2-3 破壊用器具

番号	品名	適用	数量
1	削岩機	コブラコンビ若しくはわビーガン CB4 410 (オイルストップ仕様)	1 式
2	ハンマードリル	ボッシュ製 GBH 8-45 DV (ドリル ビット付)	1 式
		ドリルビット MAX320 520SX	1 本
		ブルポイント MAXBP-400RSS	1 本
		チゼル MAXCH-400RSS	1 本
		アスファルトカッターMAXAC-90	1 式

2-4 呼吸保護用器具

番号	品名	適用	数量
1	酸素呼吸器	OXY GEM-11 1式 酸素ボンベ (F265 刻印) カバーグラスF2	5 基
2	簡易呼吸器	パラート マスク	2 基
3	防塵マスク	興研 面体 : 7191DK-XRB02 吸収缶 : RDG - 2HP 10セット	5 体
4	送排風機	大西電機 BM-C 100V仕様 ダクト 5m 2本	1 式

2-5 隊員保護用器具

番号	品名	適用	数量
現有資機材で対応			

2-6 その他の救助用器具

番号	品名	適用	数量
1	緩降機	スローダン 125 30m	1 式
2	ロープ登降機	アッセッション (左右各 1)	1 式
3	ロープ下降器	バーラック (12 mm)	2 個
4	発電機	EU16i	1 基
5	フルボディーハーネス	アバオボットファスト (ショックアブソーバー付)	5 着

別表 6

高度救助用器具（省令別表 3）

番号	品名	適用	数量
1	画像探索機	レスキュースコープ・スーパーHM15 若しくわ IV9675RX-SV100 セット	1 式
2	地中音響探査機	デルサー社製（LD3）	1 式
3	地震警報器	高見沢サイバネティックス社製 STR-121 （収納ケース、ALU-121-1 含む）	1 式
4	熱画像直視装置	FLIR K45	1 式

※上記資器材は南救助隊及び中央救助隊にて使用する資機材。

別表 7

積載品及び救助用資機材（その他積載資機材）

番号	品名	適用	数量
1	GPS ナビゲーションシステム（ポータブルタイプ）	パナソニック CN-GP755VD （納車時最新式、同等品可）	1 式
2	特殊ノズル	TS-0501-S(50 mm差込メス)	1 本
		ゼロトルク（アクロン社 50 mm差込メス）	1 本
3	ホース延長用資機材	ホースキャリーバック（WTA-01）	2 袋
		ホースキャリーバック（2 本入り）	2 袋
4	剣先スコップ	約 800 mm	1 本
5	金てこ	約 1,100 mm	1 本
6	誘導棒	LED 式	2 本
7	携帯電話用シガータイプ 充電器	FOMA 用（12/24V 兼用）	1 式
8	レスキューベスト	横須賀仕様	5 着
9	折り畳みコーン	LED 式照明付（大）	5 本
10	ティッシュ（グローブボックス）ホルダー	マグネット式	2 個
11	台車	折り畳み式（最大積載量 200 kg）	1 台
12	燃料携行缶	1.5 リットル	5 缶
		3 リットル	2 缶
13	工具セット	KTC（SK35616P）	1 式
14	緊急消防援助隊車両用マグ ネットシート	「緊急消防援助隊 神奈川県隊」×3 枚 （白色）（大きさ別途指示）	1 式
15	補修用ラッカー	仕様塗装色	1 式
16	消火器		1 本
17	ロープバック	レスキューキット スタンダード	1 個
		レスキューキット デラックス	1 個
18	カギ閉じ込めキット		1 式

19	パワーユニット	ルカス P635SG 若しくはわウエーハ [®] V50ECO	1 基
		ルカス P600 OE 若しくはわウエーハ [®] B-COMPACT ECO	1 基
20	油圧ホース	ルカス DHR20 若しくはわウエーハ [®] ツインホースリール HF20T ダ [®] ブルホース	1 式
		ルカス 延長ホース 5 m × 2 本若しくはわウエーハ [®] ダ [®] ブルホース 5 m × 2 本	1 式
21	アイスハーネス	赤城工業	5 式